

次に、がん患者のアピアランスケア支援について質問します。

アピアランスには外見という意味があります。がんやがんの治療によって外見が変わることで、仕事や学校、買物に行くなどのふだんの生活を送ることが難しいと感じる人がおられますが、外見が変わっても、安心して自分らしく生活を送ることができるよう支えるケアがアピアランスケアです。

ウィッグや化粧品などを用いたケアから、人間関係などの心理的な悩みに対する対処まで、様々な支援が含まれます。御本人の意思により、必ずしも必要なものではありませんが、医療用ウィッグや補整具を使うことで治療に前向きになったり、社会生活を送るための心理的な支障を取り除いたりできるのであれば、それも意義のあることではないでしょうか。

2月議会で黒田議員がウィッグや胸部の補整具購入費用の補助について質問をされた際、国や県の動向、県内他市町の状況を参考に調査研究をすると御答弁をされています。

ある市民の方が四国がんセンターで治療を受けていた折、医療用ウィッグの購入を検討されたそうです。販売員の方から、どちらの自治体にお住まいですかと聞かれたので、新居浜市ですと答えると残念そうに、県内では新居浜市だけ助成がないんですよと言われ、つらかったし恥ずかしかったと言われていました。松山市のがんの治療に係るウィッグ類等購入費助成金は、ウィッグ類や乳房補整具が対象で購入費用の2分の1まで、上限額は3万円となっています。今治市、西条市、四国中央市では、専用入浴着や弾性着衣なども助成の対象となっています。本市においてもアピアランスケア支援として、がん患者のウィッグ及び補整具等購入費に助成をすべきであると考えます。

御所見をお伺いいたします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。久枝福祉部長。

○福祉部長（久枝庄三）（登壇）

アピアランスケア支援についてお答えいたします。

アピアランスケアは、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアであり、がん医療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加していることを踏まえ、がんの治療と学業や仕事との両立を可能とし、治療後も同様の生活を維持する上で重要な取組であると認識いたしております。

本市を除く県内全ての市町で医療用ウィッグや胸部補整具等の購入費助成を実施しており、市民や医療関係者からも複数の御要望やお問合せをいただいております。現在、他市町の取組状況を参考に、助成事業の実施に向けた庁内協議を行っているところでございます。

○7番（片平恵美）（登壇） 既に協議に入っておられるとのことで、ぜひ早期の事業開始を要望いたしまして、次の質問に移ります。